

### 可とう性，止水性，離脱防止性に優れた特殊支管を接続する取付管推進 ストライク工法について



#### 1. 開発の背景

平成10年，地元の岡山県倉敷市は，「塩ビ推進工事の延長が長い地域だったことから，その塩ビ本管への取付管推進の施工も多くなる。」と考え，取付管推進工事の施工に参入した。

現場での施工条件は，「小スペースからの発進」「取付管推進延長の長距離化」「耐震への対応」等の様々な問題を提示され，顧客満足度を上げるべく問題に取り組んで行く解答は，ストライク工法の開発であった。

#### 2. 工法の概要

ストライク工法は，「圧入方式」の取付管推進工法である。

発進基地は，地上もしくは，1500mm以上の円形ケーシング立坑から推進可能。

推進機本体に薬液注入機構を備えており，取付部の止水並びに推進管路部への地盤改良が可能である。本管との接合部は，ストライク支管により「可とう性（免震）」「止水性（漏・浸入水防止）」「離脱防止性（耐震）」を備え接続する事ができる。

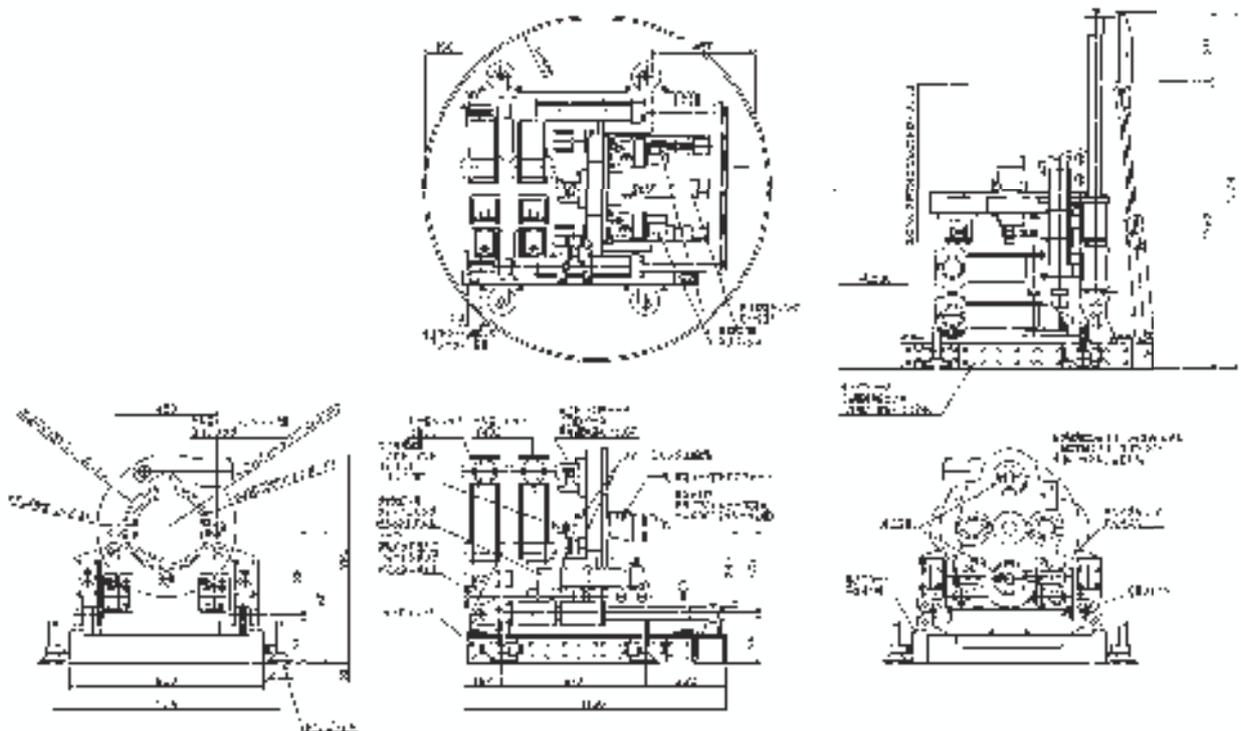


図-1 ストライク工法機 STM-1535